

1. 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2970400376		
法人名	有限会社 奈良ライフサポート		
事業所名	有限会社 奈良ライフサポート グループホーム ゆりかご		
所在地	天理市樺本町1461-3		
自己評価作成日	令和2年12月14日	評価結果市町村受理日	

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 Nネット
所在地	奈良県奈良市高天町48番地6 森田ビル5階
訪問調査日	令和3年1月14日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>のんびりゆったり生活していただきその方に合わせた介護をしていく。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>開設19年目の事業所は、木造2階建て1ユニットのホームで、最寄りの駅から徒歩数分の訪ねやすい昔からの住宅街に立地している。交通量も少なく付近には田畑もあり、四季を感じる事が出来、利用者がのんびりゆったりと寛げる静かな環境にある。勤続年数の長い職員が多く開設当初から勤務する職員もおられ、地域との繋がりを大切にしながら、利用者一人ひとりに合わせたケアに努め利用者や家族の信頼も厚い。自慢の食事は、利用者の好みも聴き入れ職員の手作りで美味しい料理が提供されており、家庭的な雰囲気の中で共に生活する家族として笑顔の見える事業所である。</p>

サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

セル内の改行は、(Alt+) + (Enter+)です。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	のんびりゆったりの理念をモットーに。事業所のパンフレットや玄関に理念を掲げている。職員は念頭におきカンファランスで話し合い共有し実践している。	事業所理念「のんびり・ゆったり・ゆったり・そのひとらしく」を玄関や人目に触れやすいところに掲げ、一人ひとりの暮らし方に合わせた個別ケアを大事にした利用者本位の支援に努めている。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会の行事は連絡もあり常々参加している。	自治会に加入し、回覧板で地域の情報を受けたり、近くの神社で定期的開催される地域サロンに参加している。本の読み聞かせやマジックショー、ドッグセラピー等のボランティアの方の訪問があり、日常的に地域の一員としての相互交流がなされているが、今年度はコロナ禍の為訪問受け入れを自粛している。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	音楽療法の案内を掲示板で自治会に連絡している。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	2か月に一度運営推進会議を行う。(天理市役所、地域包括支援センター、民生委員、区長と意見交換をする。)ただしコロナのため、ゆりかごの職員のみでの会議とし後日各メンバーに報告している。運営推進会議での議事録をもとに、職員のミーティングで話し合いサービスの向上に生かしている。	運営推進会議は、区長・市担当職員・地域包括支援センター職員・民生委員の参加を得て2ヶ月に1回開催している。会議では事業所の近況、活動報告を行い参加者から質問や意見を受けるなど双方向的な話し合いが行われているが、今年度はコロナ禍の影響で職員のみでの開催になっている。認知症ケアの地域の拠点となることが期待される。	
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営会議で空室情報や他の情報をいただき協力関係を築いている。天理市役所、地域包括支援センターからその都度連絡をもち、運営推進会議にも必ず参加していただく。	市担当職員と地域包括支援センター職員が運営推進会議に毎回の出席をうけたり、事業所通信も届けてスムーズな情報交換が行われている。生活保護の利用者を受入れており、市の担当課とは日頃から連携をとり、何でも相談できる関係を築いている。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関は、日中施錠しない。拘束については会議で報告と意見交換をしている。契約書に身体拘束を掲げている。やむ負えない場合は家族の同意を得ている。	身体的拘束適正化検討委員会を2ヶ月に1回開催している。指針を作成し職員研修を行い、身体拘束の内容やその弊害を認識し、日中玄関は施錠せず、外出願望の方には職員が付き添い外出して拘束をしないケアを日々実践している。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	コロナのため、不参加。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	コロナのため、不参加。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には必ず十分な説明をするようにしている。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見や要望は聞くように努めている。コロナのため、家族の訪問は自粛しているため、その都度電話連絡で意見を聞くようにしている。	利用者の意見や要望は日々の支援の中で聴き取るように努め、家族の意見や要望は管理者が利用者の生活の様子を月に1回電話で伝える折に聴くようにしている。また、家族の来訪時や利用者の体調変化などで家族に連絡する時にも聴くように努めている。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	不定期のミーティング。催時は全員参加で意見を出し合いサービスに反映している。	管理者は、日々業務の中で職員が意見や要望などを言いやすい環境づくりに努めている。また、年3回開催する夜勤者も含めた全体会議が、職員の意見や提案を聴く場となっており、身体拘束等の勉強会も行われている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	チェックシートなどを利用し勤務状況を把握し、職場環境に配慮している。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	今年はコロナもあり行っていない。資格取得には貸付制度などがある。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	今年はコロナもあり行っていない。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の思いを察知し要望に傾聴し関係づくりに努める。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の要望を聞きながら関係づくりをする。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	コロナのため、思い通りのサービスは難しいが、ドライブ、音楽会など必要なサービスに取り組む。		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	その都度の声掛けと、掃除の時モップがけや洗濯ものたたみ、テーブル拭きなど一緒にしていただいている。		
19		本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	その都度、家族との連絡を取り合う。		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族への聞き取りをし、入所前から本人に知被けるよう支援している。家族の迎えで食事、自宅へ帰ったりすることを支援し、なじみの場所へドライブに行く。	利用開始前に本人と家族から聴き取った馴染みの情報と日々の会話のなかで、一人ひとりの生活習慣や馴染みの関係の把握に努めている。これまでの馴染みの生活が継続できるよう自宅近くへドライブに出かけるなど本人の希望に沿った支援に努めている。馴染みの店へ家族といかれる方や携帯電話を利用されている方もいる。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ゆりかご内でのイベントやレクリエーション時に声掛けをし孤立しないように気をつけて支援している。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院時も様子を見に行く。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ひとりひとりの身体能力に合わせた過ごし方ができるよう支援している。入所時前の自宅を訪問し、時自宅に近づけるよう家族の意見を聞いたり、重度の方は主治医の意見を取り入れている。	利用開始前に本人の自宅や生活の本拠地を訪問し、バックグラウンドを把握するようにしている。本人や家族から聞き取った情報と利用者の日々の会話や行動・表情から思いや意向の把握に努め、ケース記録や連絡帳に記録しているが、何をしたいのかの意志を発信できる利用者は少ない。	利用者本人本位の生活を築くためには「～したい・～する」という目標や目的意識を持つことが大切であり、どのような生き方を望んでいるのか本人がうまく表現できない思いや気持ちの表出を手助けし、情報の把握に努め介護計画に結びつけることを期待する。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族、本人から情報を取り入れている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者一人ひとりのその日の状況に応じて支援する。		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人のニーズを重視し家族からの意向を聞き計画作成担当者を中心に介護職員全員で介護計画作成にかかわっている。ケース記録を職員、ケアマネで検討し身体面趣味を生かせるように作成している。	介護計画作成担当者が、利用者個人のケース記録や連絡帳の情報をもとに家族の希望も聞き、職員の意見も幅広く取り入れ、利用者の望むことや楽しめることを盛り込んだ本人本位の介護計画を作成している。計画の見直しは1年ごとに行い、利用者に状態の変化があればその都度見直している。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録に個別に様子を記録しカンファランス、申し送り時に業務に生かしている。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	、昼寝、散歩、カラオケなど要介護状態に合わせて支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	本来は地域のお祭りサロンに参加していたが、コロナ時でなく今はサロン新聞をいただいている。		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的に主治医の往診、緊急時の対応、訪問看護に来てもらっている。	事業所の協力内科医が月2回訪問診療を行っており、利用者全員がかかりつけ医としている。また、急変時には随時の往診にも対応している。歯科、眼科、皮膚科医の往診もあり医療面の不安は少ない。婦人科等の専門医院の受診は、家族の付添いを原則としているが、精神科の受診には、利用者の症状を適切に伝えるため職員が付き添うこともある。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の訪問看護。不定期だが看護職員を配置し主治医と相談している。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関、家族、事業所で連携している。		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族、知人、親戚の方が訪ねて来られるよう支援している。入居時に本人、家族への説明している。重度化した場合、再度、家族への説明と同意書を得て医師や看護師の指示のもと24時間対応している。	利用開始時に看取りに関する指針を利用者と家族に説明し、私のリビングウィル(事前意思表明書)をもらい希望を聴いている。本人が重度化した時は、協力医師が改めて説明を行い、同意書を得て、看取りを行うため協力医と看護師が24時間対応の協力体制をとり、本人と家族の思いに寄り添った安らかな時間を過ごせるよう支援している。今迄に複数名の看取り介護を行った。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	AEDを設置し使い方の確認をしている。		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域の区長と日頃から連携し、警察、消防、セコムなどにも対応を依頼している。年2回避難訓練、火災報知器、スプリンクラーの設置。地域の方への協力をお願いしている。	防災マニュアルを作成し、年2回利用者も参加して避難訓練を行っている。事業所はオール電化でスプリンクラーも設置済みで緊急時の職員連絡網も整備できている。運営推進会議で災害時に地域の協力を要請し、事業所備付けのAEDの貸し出しを申し出ている。夜間は夜勤専属者と宿直者の2名体制とし、セコムと緊急対応の契約もしているが、夜間想定避難訓練の実施が望まれる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ひとりひとりの人格を尊重した声かけを心がけている。尊厳を傷つけない言葉使いをしている。プライバシーを守るようにトイレはカードで案内し記録はカウンタ-裏に収納している。	職員は、利用者がその人らしく暮らせるよう一人ひとりの人格を尊重し、信頼関係を崩すことの無いよう敬意を持った言葉づかいに心掛け、名前は名字に「さん」付けて呼ぶことを基本とし、馴れ馴れしくならない様に努めている。又、排泄支援もさりげなく誘導して無理強いをしない自然な支援を心掛けている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃の様子を観ながら変化を察知し希望を家族とその都度相談している。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来るだけ希望に沿うようにしている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に美容師の方に来ていただく。季節に合わせた服装にさせていただく。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る方は職員と協力し、テ-ブル拭き、配膳をしてもらっている。季節を感じるメニュー-や希望を取り入れている	3度の食事は、職員が交代で手づくりしている。事前にメニューを作成しているが、食材により色々アレンジした食事を提供しており、週3回(月・木・土)の夕食に調理専門職員手づくりの料理が好評を得ている。職員も利用者と一緒に同じものを食べ食卓を囲み利用者と会話をしながら食事を楽しんでいる。正月は寿司屋に注文した寿司バイキングとおせち料理を楽しんだ。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	その方に合わせた量、栄養バランス、水分(1日1000ml)を目安に心がけている。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の歯磨き、義歯はポリデント使用、歯ブラシは殺菌、歯の状態を観ながら訪問歯科依頼。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	ひとりひとりの排泄パターンを把握し、声かけ、誘導、介助している。オムツを使用の方もいますが、パターンを把握しトイレ介助し夜間Pトイレを使用している。	バイタルチェック表と日々のケース記録から排泄パターンを把握し、適宜なトイレ誘導で自然な排泄を促しオムツを使用しない支援に取り組んでいる。夜間のみオムツ対応の方が1名で、他の方はオムツなしで過ごしている。夜間3名の方がポータブルトイレを利用している。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便パターンも把握し、野菜、果物、ヨーグルトを摂取に心がけ、体操をする。主治医にも相談している。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	月、火、金、土曜日午後からゆったり入浴していただく。スタッフ2名で一人ずつ入浴していただき機械浴ではないので職員の協力で入浴指定ただ空いている。	週3回午後入浴を基本とし、利用者の希望や体調に配慮し入浴を楽しめるよう支援している。入浴を拒否する方には無理強いをせず間をおいて入浴をしたくなるような声掛けを工夫している。菖蒲やゆずを浮かべ季節を楽しむこともあり、利用者の状態によりシャワー浴もしている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その人の生活習慣に応じて対応している。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服用していただく薬はスタッフが把握し症状の変化に注意している。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日の掃除のモップかけや洗濯ものたたみなスタッフと一緒にしている。		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日になじみの場所へ本人とも相談しドライブに行く	コロナ禍の影響で外出を自粛しているが、天気の良い日は敷地内でお茶や外気浴を楽しみ、事業所付近の神社へ散歩して外気に触れるようにしている。秋にはドライブで紅葉狩りに出かけた。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人と家族とともに出かけていただく。スタッフと出かける時もある。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望次第で、携帯電話を持っている方もある。		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングへ季節ごとの壁飾りをしている。温度調節に気をつける。自宅と同じような間取りで見守りができる。壁絵は利用者さんとの共同作業です。	白を基調としたリビングは床暖房で、壁には無用な飾りつけはなく利用者と職員の共同で手作りした季節感のある貼り絵を飾り、自分の居場所(家)であることを感じさせる快い環境づくりができています。又、常時小窓を開け換気と加湿器には除菌効果のあるステリパワー液を入れてコロナ対策を取っている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	本人の希望や孤立しないように心掛け、その都度配置換えをする。		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の使い慣れた道具、家具を持ってきてもらっている。本人とも相談しながら道具、家具を配置し自宅での生活に近づける。	9室ある居室は4畳半、6畳、8畳と広さの異なるタイプがあり、エアコン・クローゼット・ベッドとカーテンが備え付けられている。北側の居室は暖色系の壁紙、南側の居室は寒色系の壁紙で居心地よく過ごせる雰囲気づくりがされており、利用者は使い慣れたタンスや鏡台を持ち込み、写真を飾るなど自分らしい部屋づくりをしている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりの設置、部屋の名前を付けている。		